

# 私たちのまちづくり

多摩区まちづくり協議会 NEWS 2010年 (平成22年)9月

28号

## 新しい仲間が集まり第2期がスタート!

市民が自らまちの課題を見つけ解決する実践組織として、多摩区と協働して地域課題の解決に取り組んできた「多摩区まちづくり協議会」は第2期目(平成22・23年度)を迎えました。新役員とともに新たな体制で第2期の活動をスタートさせます。

今後も幅広く多摩区民の皆さんの意見をお聞きしながら、まちの課題解決に向けた取り組みをオープンに進めていきます。



第2期まちづくり協議会の委員の皆さん

## 課題解決に果敢に取り組みます 会長 本多正典



本多正典会長

日ごろより、多摩区のまちづくり活動に、ご理解、ご支援をいただきありがとうございます。第2期を迎えた多摩区まちづくり協議会のスタートにあたりご挨拶申し上げます。

区内のまちづくりに関する課題を自分で提起し、自ら解決することを基本に、2年前に多摩区まちづくり協議会の活動の主体をプロジェクト制に置き換えました。そして6つのプロジェクトがスタートいたしました。その第1期の成果は、今年2月のまちづくり活動発表会(まちカツ!)で発表させていただきました(広報紙27号に掲載)。

今期の活動は、公募委員17人、団体推薦委員13人とプロジェクトメンバーで推進することになりました。第1期からの継続委員に20人の新委員が加わり、新しい課題解決に果敢に取り組む活力が感じられます。

今期は、意思決定の迅速化とプロジェクトとの連携強化を図るために組織の簡素化を図りました。すなわち実質的な運営を、まち協役員とプロジェクト代表を中

心に構成する運営委員会に委ねることにしました。これから2年間、区民の皆さまのご参加とご協力をいただきながら、ご期待に沿えるような活動をしてまいりたいと考えております。ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

### 役員紹介

- **本多正典 会長** / 枅形(在住37年)  
興味: 日本・中国の歴史、陶芸の話と作成  
思い: 子どもから大人まで和・いたわりの心を持った、活力あるまちづくりの一助となれるプロジェクトを目指したい。
- **久野道子 副会長** / 南生田(在住10年)  
興味: 日本一周各駅停車の旅、シルクロード  
思い: 活動の中で、自分には何が出来るのか、何をしたいのか、何があげられるのかを常に考えさせられている。地域の方々と密にかかわり合えることを大切にしていきたい。
- **木村 功 会計** / 生田(在住34年)  
興味: 国際交流、運河クルージング  
思い: 区内のまちづくり活動団体やグループが定期的に交流し、互いに協力や支援し楽しく活動できるようにしていきたい。
- **石橋 吉章 会計監査** / 登戸(在住35年)  
興味: 海外旅行  
思い: 各プロジェクトの円滑な運営を目指したい。

私たちが活動していきます!

第2期まち協委員を紹介します。

【公募委員】		(敬称略、五十音順)	
池田 倫子	井出 恵子	井上 清	
今泉 靖彦	大久保 正視	岡田 委久子	
金子 忠司	木村 功	穴倉 勝	
近田 昭泰	坪井 武信	仲丸 則雄	
久野 道子	古川 紀代子	本多 正典	
望月 定紀	矢作 明美		

【団体推薦委員】

- 安陪 修司(多摩区商店街連合会)
- 石橋 吉章(多摩区社会福祉協議会)
- 伊牟田 浩平(多摩区町会連合会)
- 植村 文一(多摩区PTA協議会)
- ト部 政枝(多摩区老人クラブ連合会)
- 川口 キン(多摩区地域教育会議)
- 小泉 喜一(多摩区民生委員児童委員協議会)
- 佐藤 久子(多摩区文化協会)
- 田島 正子(多摩区保育園園長会)
- 夏井 賢(川崎市立中学校長会 多摩・麻生地区会)
- 長谷川 淳(川崎市立小学校長会 多摩支部)
- 古谷 欣治(多摩区町会連合会)
- 萬年 豊子(多摩区地域女性連絡協議会)

以上の委員30人と、プロジェクトメンバー18人の、合計48人で活動を進めていきます。

まち協のなかまたち

プロジェクトメンバーは随時募集中です。

### まちづくりカレンダー

※詳細は広報紙27号の「まちづくりカレンダー」を参照してください。

### 防火協会の取り組み

多摩防火協会では、住宅からの出火による死者をなくすため、住宅用火災警報器の普及啓発活動と共に設置促進の活動を多摩消防署と連携してきました。既存の住宅では、住宅用火災警報器の設置期限は来年の6月31日までです。多摩防火協会は、火災予防広報などのため広報自動車を購入し、住宅用火災警報器の普及啓発活動をより一層効率的に推進していきます。大きな文字が一目で派手ですが、多摩区で皆さんにお目にかかれるのを楽しみにしています。

## 多摩のくらし～歳時記

### ～七夕と重陽の節句～

7月7日は、七夕(棚機=たなばた)の節句です。1月1日人日(じんじつ)の節句(元旦)、3月3日上巳(じょうし)の節句、5月5日端午(たんご)の節句とともに、日本の五節句のうちのひとつに数えられています。牽牛星(けんぎゅうせい)と織女星(しょくじょせい)を祭る行事は、庭に葉竹(はたけ)を立て、五色の短冊に歌や字を書いて枝葉に飾り、裁縫や手芸および字の上達(現在では子どもたちの願い事が多い)を祈ります。

奈良時代に、中国の乞巧奠(きこうでん)の習俗が伝来し、古来の「棚機女(たなばたつめ)」の伝説と結びついて宮中で行なわれたことに始まって、七夕祭り、星祭など近世に民間にも普及し、陰暦7月の異名ともなりました。七夕の飾り竹を海や川に流したり、そうめん、ところんを食べたりするようになり、後に1把(わ)のそうめん、織姫と彦星になぞらえて数本の緑とピンクのそうめんが入ったものが出てきました。

炎暑去り、菊の香り漂う頃、9月9日は陰数である九が重なることから、重陽(ちやうよう)の節句と呼ばれます。陰暦9月9日に行われる節会(せちえ)はやはり中国から伝わり、平安時代には宮中の年中行事となって、観菊の宴が催されるようになりました。菊の花は国花でもあるので、各地域で重陽宴、菊花宴、菊の節句として、菊酒(酒に菊の花びらを浮かべる)、菊の天ぷら、菊の酢

のものなどに尾頭付きの魚に、お赤飯で祝い膳をしつらえお祝いします。また、菊の花で戦国武将や、名を残した人物などの人形を造り、秋祭りとして今なお継がれています。(川口)



まちづくりカレンダーに掲載する記事を募集しています。街のイベント、お知らせなどをお知らせください。詳細は事務局まで。



### 編集後記



大久保

早朝、船島福神社の境内に、どこからともなくウォーキングを楽しむ人や釣り人が集まり、高齢者の小さなコミュニティが生まれています。その中のHさんは、ほぼ毎朝多摩川の土手をウォーキングしながら自主的にごみ拾いをされており頭が下がります。私たちのまちづくりは、このような人の善意とコミュニティを大切に、自分たちのまちや暮らしを自分たちの手で作っていくというものです。皆さんのご支援ご協力をよろしくお願いいたします。(大久保)

多摩区まちづくり協議会へのご意見・ご質問、プロジェクトへの参加申込はこちらへお願いします。

【事務局】〒214-8570  
多摩区役所地域振興課まちづくり推進係  
電話 935-3148  
FAX 935-3391  
メール 71tisin@city.kawasaki.jp

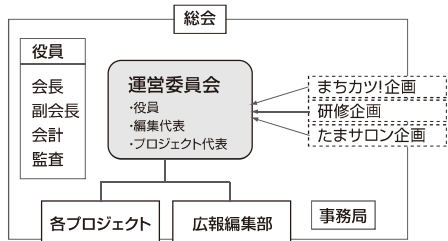
# さまざまなテーマでまちづくりを進めます！

新しくなった組織と活動内容をご紹介します。

## 新しい組織・体制にしました

第2期のスタートにあたり、組織の見直しを行いました。まち協の委員とプロジェクトメンバー全員が運営を支える意識を持って活動を進めます。

新しい体制は、総会、運営委員会、広報編集部とプロジェクトで構成されています。総会は、まち協関係者全員の参加を基本とし、年1回開きます。運営委員会は原則月1回開き、まち協運営の中核に位置付けました。



「新しい組織・体制の図」

運営委員会は主要委員(役員・編集代表・各プロジェクト代表)で構成します。まち協の運営にかかわる方針や事業企画など重要事項の検討を行い、実質上この決定によりまち協が運営されるようにしました。また、まち協の活動の重要な構成要素であるプロジェクト代表が参加し、プロジェクト同士の情報交換をしやすくし、推進状況や課題などを把握して迅速な対応ができるようにしました。

広報編集部は、広報紙の作成と活動の広報企画を行います。広報紙は年4回発行し、市内7区役所と区内の郵便局、銀行、農協、駅などで配布します。

これらのまち協の活動の事務局は区役所地域振興課の担当が担います。

委員とプロジェクトメンバー全員が参加して行う行事として、3つの全体会(まちカツ!、研修、たまサロン)があります。全体会の企画は、参加希望者と運営委員会が一緒に検討していく形をとり、新しい目線で課題発掘にも取り組めるようにしました。

### 【全体会の内容】

- まちカツ! ~まち協の活動発表会
- 研修 ~座学の研修
- たまサロン ~他都市の活動団体との意見交換と事例視察
- たまサロン ~市民活動団体との意見交換会

## 各プロジェクト活動が 始まりました！

多摩区まちづくり協議会では、まちづくりの課題解決のために、プロジェクトを立ち上げ、各委員は、いずれかのプロジェクトに参加し、実践的な活動に取り組んでいます。

第1期は、6つのプロジェクト活動が行われていましたが、そのうち「多摩区の観光資源・地産地消のマップづくり」「世代間の交流ができるコミュニティセンターをつくろう」「まちづくりネットワーク応援隊」は継続テーマとなりました。2期目の委員のよりよいまちづくりへの挑戦が期待されるところです。

「区民でつくろう、地域交通」「花と緑でまちづくり」「家庭の資源物分別回収を広めよう!」の各プロジェクトは、一定の成果を得て、第1期で活動を終了することになりました。

今後も新たなプロジェクトを立ち上げるべく、委員の意見だけでなく、幅広く多摩区民の皆さんのご意見を取り入れながら活動してまいります。

## 活動の内容とスケジュール

それぞれの会議または活動のスケジュールは下記の予定で行います。ただし諸般の事情で変更することもあります。

### 【会議などのスケジュール】

総会	年1回(6月)開催	<総会は全委員参加>
全体会	まちカツ!: 2月 座学研修: 7月 視察研修: 11月	年1回開催
	たまサロン: 年1回~数回開催	<全体会は全委員・全メンバー参加>
運営委員会	原則月1回開催	
広報編集部	広報紙発行に合わせ随時開催	
各プロジェクト	随時開催	



## 多摩区の観光資源・地産地消のマップづくり



<どんな活動?> 多摩区には、地元農家が精魂込めて作った季節ごとの自慢の作物が並べられた直売所や、ある時期しか見られない隠れた観光スポットがたくさんあります。失われた季節感を取り戻し、その時期、その場所でしか得られない



取材した区内の直売所のようす

出会いを紹介したい。私たちはそんな思いでマップづくりを進めています。

季節によって変わる農産物の直売所や、ちょっとした観光スポットを

マップに示して紹介し、マップを片手に意外な場所で安らぎを覚えたり、また気楽に直売所を訪ねたりできるような地産地消の推進と多摩区の魅力発信に取り組んでいます。

<活動期間・時間帯> 平日夜、月1回程度プロジェクト会議を開催しています。また、秋の最盛期に向けて、直売所への取材、梨園の写真撮影を進めています。

<こんな人を募集中!> 地域の自然や景観、地産品に興味があり、野外での活動が大好きな方をお待ちしています。(安倍)

## まちづくりネットワーク応援隊



<どんな活動?> まちづくりネットワーク応援隊は、市民活動団体を応援するために団体が抱えている課題に着目し、「活動する場所がない」「資金がない」「人が集まりにくい」という共通の



プロジェクト会議のひとつ

課題の中から、利用できそうな会場に足を運んで調査をしています。調査した結果はホームページやブログで発信し、データが誰でも見られるようにしてい

く予定です。今後は、調べるだけでなく実際に利用して交流会を実施します。たくさんの市民活動団体と連携・協力しながら、楽しいプログラムを実行し、メンバーの持ち味を生かしたチームでプロジェクトを運営しています。

<活動期間・時間帯> 平日夜、月2回程度プロジェクト会議を開催しています。

<こんな人を募集中!> パソコン、写真、料理が得意な方、異文化交流や地域のいろんな情報に詳しい方。(池田)

## 世代間の交流ができるコミュニティセンターをつくろう

~子どもからシニア・みんなで楽しく心の触れ合いを~



<どんな活動?> 子どもから高齢者までが気軽に立ち寄れる“居場所”をつくろうと活動しています。子どもたちがいきいきと地域を駆け回り、



小学生との昔遊び

高齢者も孤立せず、互いに支え合い助け合う、そんな関係を多くの人ももてるようなまちづくりを目指しています。

しい作品づくりやおしゃべり会などのコミュニティサロン、小学生との昔遊び、中学生とのパンづくり。また広報紙を発行したり、知りたいことを皆で聞いたり学んだりしています。

<活動期間・時間帯> コミュニティサロンとプロジェクト会議を、それぞれ月1回、サロンは土日、会議は平日に開催しています。

<こんな人を募集中!> 世代を超えて人と触れ合う活動に興味、関心がある方。(久野)

## プロジェクトに参加するには?

住所、氏名、年齢、電話番号、希望のプロジェクト名を記入し(書式自由)、直接郵送またはFAXで事務局までご連絡ください。プロジェクトへの問い合わせ、お試参加など随時受け付けています。(連絡先は4ページ下に記載)